

ホーム > 長崎大学について > 大学からのお知らせ > ニュース&トピックス一覧 > 原爆後障害医療研究所が平成28年度「共同利用・共同研究拠点」に認定されました

## 長崎大学について

学長メッセージ

大学からのお知らせ

ニュース&トピックス

イベント情報

学術情報

公開講座

広報誌

施設貸出案内

宿泊施設「親月荘」のご案内

東京事務所(長崎大学教職員・学生・OB専用)

調達・工事情報

教職員採用情報

大学案内

理念、ミッションの再定義及び特色

ロゴマーク・学歌など

寄附金・共同研究・受託研究

情報公開・個人情報保護

数字で見る長崎大学

大学点検・評価

卒業生向け情報

国際戦略

## 原爆後障害医療研究所が平成28年度「共同利用・共同研究拠点」に認定されました

いいね! 0 Tweet 0 Bookmark 0 イイネ!

2016年01月28日

長崎大学原爆後障害医療研究所は、広島大学原爆放射線医科学研究所ならびに福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターとともに、ネットワーク型の「共同利用・共同研究拠点」である「放射線災害・医科学研究拠点」を設置する準備を進めてきました。この度、文部科学大臣より同拠点に認定され、平成28年4月に設置することになりました。

(認定期間:平成28年4月1日～平成34年3月31日)

この研究拠点は、原爆後障害医療研究所が平成25年度より独自に取り組んでいる、全国の放射線研究者を対象とした社会医学研究、放射線生命科学研究、原爆・ヒバクシャ医療研究等に関する共同利用・共同研究の事業を基礎として、福島復興に資する学術を特段に推進するために設置するものです。

半世紀にわたる原爆被爆者の医療や被爆症の学理の解明などの知見を蓄積してきた広島大学及び長崎大学と、福島復興の中心的存在である福島県立医科大学の3大学がネットワークを形成した本共同利用・共同研究拠点は、放射線災害に関する先端的かつ学際融合的な共同利用・共同研究を推進し、その成果を国際社会へ発信するとともに、人材育成と人材交流を図ることを目的としています。

今回の研究拠点の設置により、福島復興の学術基盤を長期的に確立するとともに、放射線に関連する社会的貢献をさらに進展させることを目指しています。

▲ [このページの先頭へ](#)

| [プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#) | [免責事項](#) |

| [ホーム](#) | [長崎大学について](#) | [学部・大学院・附属施設](#) | [修学案内](#) | [学生生活](#) | [研究活動・国際交流](#) | [就職情報](#) | [入試情報](#) |